

第4次市民自治推進会議 市民参加条例の在り方についての検討

市民参加条例の在り方に係る、第3回会議終了時までの各委員からの意見・発言概要は以下のとおり。

＜市民参加条例の制定可否＞

- 第3次推進会議の報告書等をもう一度読み返してみても、そもそも自治基本条例をつくるときに市民参加条例をつくることを考えていたということは、やはりきちんと把握しておくべきだし、それを忘れてはいけないと思うので、市民参加条例をできるだけつくる方向で考えていくことが必要だと思う。
- 何をもって市民参加が活性化しているのかの物差しにもよるが、市民参加の促進が図られるのであれば、条例はつくってもいいのではないかと思う。
- 今の自治基本条例の中には以下の足りない要素があり、市民参加条例は必要だと感じている。
 - ・理念的なものであって、市民参加をどのように行うのか具体的な手法があまり書かれていない。
 - ・自治基本条例では、市民参加の将来像として具体的なものがあまりない。
 ただ、一つ迷いとして、市民参加条例でないといけないのかと考えたとき、京都市の推進計画のような計画として位置付けるのも一つの方法なのかもしれないと思うところ。手法もそうだが、変わっていくものでもあり、更新していくことありきで考えると、条例でなくてもいいのかなと感じている。
- 自治基本条例自体は、条例等となっているので、必ず市民参加条例をつくらなければ駄目とはしていないが、条例化していくことを前提としており、条例化していくことが筋だろうと思う。

ただ、実際、どこまで本当にコストがかかるのかなど、まだよく見えないところがあるので、そういう意味では時期尚早というところがあるかと思う。
- 自治基本条例自体の認知度が低いところに市民参加条例をつくっても、市民に対してどの程度の効果上がるのだろうか非常に危惧する。費用対効果が非常に薄いのではないかと想像される。

このため、市民参加条例をつくることに反対というより、時期がまだまだ早く、もう少し市民の理解を進めていった段階でつくられるといいという気がする。
- 現状の評価ができないので、現時点では条例を制定することができないと考える。

条例の文言を考えるにしても、例えば、どこまでを目指すのか、何をを目指すのかという現状の評価ができない限り、制定は難しいのではないか。
- 今の段階では市民参加といっても、何を目的にしたらいいのかという部分がすごく分かりづらいので、もっと推進会議で議論し、いい方法を編み出していかなければいけない時期であるのではないか。

【総括】すぐに条例化すべきだという提言を出すことは難しいのではないかというのが大勢の意見であった。条例化のためには基盤が整備されるというか、機が熟しないと無理ではないか。その基盤を整備する、あるいは、機を熟させるためにどういうことが必要かを検討していくということが一応のコンセンサスだったのではないか。

＜その他の主な意見・発言等（抜粋）＞

- 市民参加条例をつくるメリットとして、チェック体制の確立が一番大きいと思う。他自治体の条例を見ると、例えば、公表をする、チェックするような機関をつくるという規定を持っているところが多いようであり、そういうことがしっかりチェックできると思う。
- 条例の中身にもよるが、必要以上にコストをかけてやるのが目的ではなく、あくまでも市民の参加や活動を促すものであり、必要以上に事務仕事を増やすことなく、いろんなやり方をうまく考えていければいいと思う。
- フェーズで考えていって、まず、こういう段階では、施策となるのか、こういうやり方によってこう図るべきだというものを考え、その上でこれを検討し、こうなれば条例化すべきというもののある程度の方向性として考えていければいいと思う。
- 市民参加条例まで持っていくのがいいとは思いますが、今はまだ早く、市民参加条例をつくるまでに市民に向けてそういう雰囲気づくりを醸成していかなければいけないと思う。

市民参加に対する手引書や解説書みたいなパンフレットのものを市民に配布し、少しずつ理解度を上げてもらって、そういう雰囲気が醸成された段階で条例をつくるという方向へ持っていったほうがいいのではないか。

市民参加条例が先走ってしまうと、それに対する興味を失って、効果が現れないと思う。
- 本当に具体的に検討していかないと分からないため、委員の皆さんと具体的に（市民参加条例を）どういうふうにつくっていけるだろうかという検討を進めていったらいいのではないか。
- （市民参加条例の検討は）何のために必要なのが先にあると思っていて、現状では何が足りないか、市民参加条例には何があるといいのかからの話が良く思っている。
- （市民参加条例について）その目的や、なぜつくらなければいけないのかということを、今の推進会議で審議するのは難しく、我々が経験した中での意見しか言えないので、市民からもっと広く意見を求めると良いと思う。
- 最後の段階では、機を熟させるため、足りないことに対してどういうことをやるべきなのか、そういうふうにして提言に持っていくというのが大まかな方向なのかなと思う。